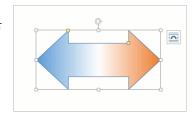
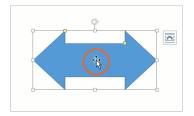
# グラデーションの作り方

No.excel: (45)

PC クラブ 2025.03.19

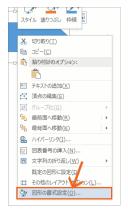
右図のグラデーションを設定しながら、グラデーションを自在に操る方 法





図形を描いておきます。 そして、グラデーションを設定したい図 形を選択

選択した図形のところで右クリック、[図形の書式設定] をクリック



## 中に文字が入っていない図形

ペンキバケツが倒れているマークをクリックし、更にその下の [塗りつぶし] の左に表示されている三角が**右向きの三角だったら**、この三角か [塗りつぶし] という文字の部分をクリック



#### 中に文字が入っている図形

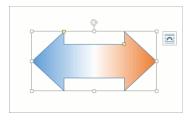
中に文字が入っている図形の場合、グラデーションを設定したいのは、その図 形自体なのか、それとも、その図形の中に入っている文字なのかを選ばなけれ ばいけないため、[図形のオプション] [文字のオプション] という選択肢がある



展開された選択肢の中から、[塗りつぶし(グラデーション)] を選択すると、更にその下にグラデーションを詳細に設定する項目がズラッと表示される。



#### グラデーションの分岐点



グラデーションを設定したいわけですが、左の図のグラデーションは、

「青」→「白」→「赤」のように色が変化しています。色が 3 つに分かれている、ということになります。

色がいくつに分かれるのか、というのを設定するのが、[グラデーションの分岐点] という部分です。

この [グラデーションの分岐点] に最初に表示されている「つまみ」が、4 つだろうが、3 つだろうが、個数は気にすることはない





この分岐点は、自由に増やしたり減らしたりすることができて、例えば、中央にあるつまみをクリックで選択後、左の図のボタン(小さく×印が付いていますね)をクリックすると、択後、左の図のボタン(小さく×印が付いていますね)をクリックすると、



選択したつまみが消えます。

分岐点を1つ減らした、ということです。

今回の例では、分岐点のつまみが、最初は4つあったのですが、減ら したので3つになりました。



今度は、一番左にある分岐点のつまみをクリックで選択後、左の図の ボタン(小さく+マークが付いていますね)をクリックすると、



選択したつまみの右側に、新しいつまみが追加されました! ボタンに+マークが付いていたので、つまみが追加されたというわ けです。



新しいつまみは、選択したつまみの右側に入るので、左の図のつま みを選択後に、つまみを追加するボタンをクリックすれば、



選択したつまみの右側に、つまみが追加されました!



でも、一番右端ギリギリにあるつまみを選択して追加した時だけは 例外。こんな風に左側に入ります。

新しくつまみが入るスペースが、右側に無いので仕方ないですね。

# グラデーションの色

今回設定したいグラデーションは、 「青」→「白」→「赤」 のように、3 色のグラデーションです。

どのつまみから設定していっても OK なのですが、今回は右端のつまみから設定していくことにしましょう。

右端のつまみをクリックで選択後、[色] ボタンの [▼] をクリックすると、

色の一覧が表示されるので、好きな色をクリックで選択します。

もし一覧に好みの色が無ければ、一覧の一番下にある [その他の色] から色を 設定します。

ちなみに、ここで表示される色の一覧は、文書に設定されているテーマによって変わってくるので、左の図と同じじゃなくても気にする必要はありません ヨ。



同様にして、他のつまみにも色を設定していきましょう。

真ん中のつまみをクリックで選択後、[色] ボタンの [▼] をクリック し、表示された一覧から好きな色を選択します。

左端のつまみも、同様にして色を設定します。

やはり色を設定したいつまみを、先にクリックで選択してから色を選ぶのがポイント。

つまみの選択、お忘れなく。



ちなみに、今回の例で私が使用した色はこちら。

繰り返しますが、ここで表示される色の一覧は、文書に設定されているテーマ によって変わってくるので、左の図と同じじゃなくても気にする必要はあり ませんヨ。

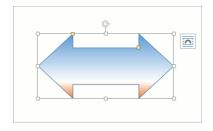


### グラデーションの位置



さて、左の図の例では、白に設定した「つまみ」が、赤を設定したつ まみの方に寄っています。

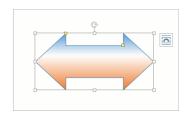
そのため、「つまみ」と「つまみ」の間隔を見ると、青~白の部分は広 く、白~赤の部分は狭くなっていることが分かります。



つまみの位置は、実際のグラデーションに反映されるので、実際のグラデーションも、青〜白の部分は広く、白〜赤の部分は狭くなっています。 この時点で、グラデーションの色の変化が上から下に流れているなど、 グラデーションの方向が完成図とは違っていても、気にせず先に進んでください。



ここで、真ん中のつまみをドラッグで動かし、青〜白の部分をやや狭く、 白〜赤の部分をやや広くなるようにすると、



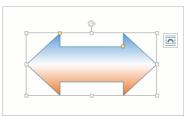
実際のグラデーションにも反映され、青〜白の部分はやや狭く、白〜赤の 部分はやや広くなりました!

つまみをドラッグで動かす際は真横に動かすのがポイント。

上方向や下方向に向かってドラッグしてしまうと、そのつまみが消えてしまうので注意です。



このつまみの位置調整は、ドラッグで動かす以外にも方法があります。 動かしたい**つまみをクリックで選択**後、[位置]の欄で数字を設定します。 きっかり半分の位置に設定したい!などという時に便利です。



グラデーションの位置を調整することができました!

## グラデーションの種類と広報



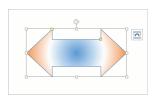
色(<u>C</u>) 位置(<u>O</u>) *₽* ≠

50%

グラデーションには、いくつかの種類があり、そして更に、その方向も設定できるようになっています。

どういうことなのかは、見て頂いた方が早いので、早速操作してみましょう!

[種類]の [▼]をクリックし、一覧から「放射」を選択します。 更にその下の [方向]の [▼]をクリックすると、放射状のグラデーションが、どの方向に広がっていくように見せるのかを選択できます。 今回は、この一覧から真ん中のものを選択してみます。

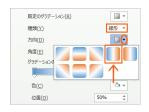


選択した方向の、放射状のグラデーションになりました!

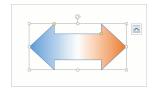


今度は [種類] で「四角」を選択後、[方向] の [▼] をクリックして一覧を見てみましょう。

「四角」の形状のグラデーションが、どのようなものなのかが分かりますね。



今度は [種類] で「線形」を選択後、[方向] の一覧から、左の図のものを選択してみます。



線状に、左から右に向かって色が変化するグラデーションに設定することができました!